

業連だより

2月22日、理事会が開催された。富澤理事長が挨拶に立たれ、先に開催された近現代史シンポジウムに関して、内容も会場の雰囲気も素晴らしく、関係者の努力に敬意を表された。特に元旧軍関係のお孫さんが来場されたことに触れられ、こうして共に学ぶ輪が広がっていくように頑張ろうと述べられた。また、オリンピックの女子パシユートを取り上げられ、個人の力で劣っているも、集団の力で金メダルを取った。今日の議題も他人任せにせず、自分のこととして議論して頂きたいと要望された。

理事長の進行で議案の審議に入った。第1号議案「平成30年度公益法人偕行社事業報告書（第3次案）」について廣瀬総務委員長から、第2号議案「平成30年度公益法人偕行社収支予算書（第3次案）」について林財務委員長から、それぞれ説明があり、審議の結果、了承され、次回の評議員会に諮られることになった。

第3号議案「臨時評議員会の開催」（3月10日）について、提案通り議決された。

続いて報告事項に入り、白石副理事長から「将来検討委員会の検討状況」について報告があった。

理事会で承認された「今後の将来体制を進める上での基本的事項」と「今後検討する課題」を次回の評議員会で報告することとなった。

厚生委員長から、2月18日（日）に開催された「いざ歌はん哉」の実施結果について報告があった。55名の参加があり、非常に盛り上がったが、今後は元自会員の参加者の増加について工夫したいと意気込みを述べられた。

若木事務局長から、防衛大学校学生の偕行社訪問（2月16日）の実施結果について報告があった。

各員長報告では、2月17日（土）の近現代史シンポジウムの実施結果と、3月13日（火）の安全保障シンポジウムの開催計画について報告があった。

次いで事務局から、偕行社観桜会（4月4日）、及び会員の活動について、紹介があった。

富澤理事長が3月9日（20時～22時15分）YouTubeに出演され、憲法問題について、政治学者の篠田英朗氏と討論される。

火箱安全保障委員長が3月29日（18時30分～）日本教育会館・一ツ橋ホールで開催される「日本国憲法のあり方を考えるシンポジウム」に参加される。登壇者は、火箱氏の他、ケント・ギルバード氏、桜井よしこ氏である。